



渡辺聡一郎 議員
(創政会)

問 こもれびの森への
アクセス改善を

こもれびの森の開館に合わせ、利用者の安全確保のために、東北自動車道側道の歩道整備が必要と考える。前回の一般質問の際には県に対して要望していくという答弁だったが、県の回答と整備の見通しは。また周辺のアンダーパスにも安全対策が必要ではないか。

答 交通需要に配慮した
安全対策に努める

昨年11月に改めて県に要望した。現在事業中の整備箇所には一定の区切りがついた時点で、市役所から新白岡方面に向けた整備を事業化する旨の回答を得ている。アンダーパスは、今後の変化する交通需要に配慮し、歩行者・自転車などの安全対策に努めていく。

問 豊かな保育環境の実現を

就労形態の多様化により休日保育や一時保育などの充実を求める声が高まっている。土曜の保育時間を延長することを検討できないか。またリフレッシュ保育を含む一時保育の整備が必要と考える。そのために保育士が働きやすい環境を作る具体策を打ち出せないか。

答 保育サービスの一層の
充実を図っていく

各種の子育て支援施策の評価結果や市民ニーズを踏まえ、土曜日の保育時間の延長やリフレッシュ保育を含めた多様な保育環境の整備を検討していく。今後も、人材バンクの活用などにより、保育士の確保に努め、保育サービスの一層の充実を図っていく。



斎藤信治 議員
(開白会)

問 高齢親の介護による
困窮家庭の支援は

高齢親の介護のために、失職したり、非正規など不安定な仕事のために本人の年金がないなど、親の年金だけで生活せざるを得ない状況に陥る家庭がある。親亡き後、年金がなくなり、再就職も困難な状況になる。どのように支援していくのか。

答 生活保護により世帯に
応じた支援を行う

経済的に困窮している場合は、さまざまな社会保障制度の検討を行い、活用可能な制度がない場合は、生活保護による支援を実施する。また、その世帯の状況を十分に把握したうえで、収入増に向けた就労支援など、自立に向けた支援を実施する。

問 義務教育機会確保法を
活かそう

外国籍の方、いじめや不登校などのために満足に勉強できなかった方のために、夜間中学などの設置やフリースクールとの連携そしてSSWの活用など、多様な学びの環境が求められている。教育委員会として、どのように対応するのか。

答 関係機関と連携し教育の
機会確保を図る

夜間中学のニーズ調査は他市の状況からも現段階では考えていないが、教育の機会確保は重要課題と捉えている。今後も学校だけではなく、スクールカウンセラー、SSWなどの関係機関と連携を進めながら、児童生徒一人一人に応じた教育の機会確保を図っていく。



教育支援センター

※SSWとは、スクールソーシャルワーカーのこと